

講義名	対) データ分析特論			
担当教員	平越 裕之 / 澤田 清			
開講期・曜日・時限	前期 月曜日 3 時限		授業形態	講義
履修開始年次	1 年生	単位数	2	備考
主題と概要				
本講義では、与えられたデータを元に論理的かつ数理的な意思決定を行なうための基本概念をいくつか解説し、Excelを用いた問題演習により、その応用力習得を目指す。具体的には、前半でデータのまとめ方と多変量解析の基礎を、後半では在庫管理問題を扱う。 データのまとめ方では一種類のデータの特徴を表すための方法を、多変量解析の基礎では二種類以上のデータの関連性を探る方法を学ぶ。 在庫管理問題とは、商品を提供するときに、いつ、どれだけの量の商品を用意するのかを決定する問題である。在庫管理の考え方を学び、Excelを用いたシミュレーションによって代表的な在庫管理の方法の特徴や有効性を確認する。				
到達目標				
(1)データのまとめ方と多変量解析の基礎では、Excelを用いて一種類および二種類以上のデータから、その特性や関連性など必要な情報を取り出す方法を修得することを目指す。 (2)在庫管理問題においては、Excelの機能で在庫の変動などを十分に表現でき、それをもとに問題をシミュレートできることを目指す。 オンデマンドでは到達目標を達成することが困難なため、オンデマンド開講はしない。新型コロナウイルス感染者又は濃厚接触者に指定されるなどで一時的に通学が禁止となった場合は、この期間はオンラインで何らかの方法で受講してもらうことにするが、通学が可能になったらすぐに対面講義に戻ることを。				
提出課題				
毎回Excelでの演習課題を課す。				
課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック				
講義中にレポートについての解説などを必要に応じて行う。				
評価の基準				
講義への活発な参加度20%、提出課題及びレポート課題80%で評価する。				
履修にあたっての注意・助言他				
Excelによる演習は提出演習課題以外にも出題するので、パソコン操作、特にWordとExcelの操作ができることが必要である。				

教科書				
.なし.				
プリント資料及び参考文献				
プリントを配布する。				
授業計画				
1. データ分析特論で学ぶこと、授業を受けるにあたっての注意点など（担当：澤田） 2. 度数分布表、ヒストグラム（担当：澤田） 3. 基本統計量、データの標準化（担当：澤田） 4. 正規分布（担当：澤田） 5. 散布図と回帰直線（担当：澤田） 6. 相関係数（担当：澤田） 7. 重回帰分析（その1）（担当：澤田） 8. 重回帰分析（その2）（担当：澤田） 9. シミュレーション演習に必要なExcel機能・操作の演習（担当：平越） 10. シミュレーション入門（その1）（担当：平越） 11. シミュレーション入門（その2）（担当：平越） 12. 新聞売り子問題（担当：平越） 13. 在庫管理問題（その1）（担当：平越） 14. 在庫管理問題（その2）（担当：平越） 15. 在庫管理問題演習（担当：平越）				
授業形態（アクティブ・ラーニング）				
	ア：PBL（課題解決型学習）		イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）	
	ウ：ディスカッション、ディベート		エ：グループワーク	
	オ：プレゼンテーション		カ：実習、フィールドワーク	
	キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）			
準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間				
特に演習内容の数値や方法を変えて授業以外に数時間の演習を行うなどによって、知識の定着と広がりを期待します。				
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連				
到達目標(1)、(2)を達成することで、DPの理論的・実証的な課題を研究するための科学的方法論の基礎を身に付けることができる。				